

岐阜県のニュース

岐阜放送局



9℃/0℃

降水確率 10%

▶ 釉薬使わない磁気の製法開発



磁器製品の強度や光沢を出すために素焼きの表面にかける「釉薬」を使わなくても、焼き固めるうちに「釉薬」をかけた時と同じような状態になる新たな焼き物の製法を岐阜県の研究所が開発しました。

この製法は岐阜県セラミックス研究所と土岐市の陶磁器メーカーが共同で開発しました。

従来の磁器は、素焼きをしたあと、表面に、ガラス質の液体の「釉薬」をかけ水の浸透を防いだり、つやを出したりします。

今回の開発では、あらかじめ特殊なガラス質の物質を焼き物用の土に混ぜ合わせることで、「釉薬」をかけなくても丈夫でつやを出すことに成功しました。

「釉薬」をかけると磁器の表面の模様がくすんで見えたりしますが、これを使わないことで模様

の輪郭がはっきりと浮き出し、磁器の厚みも薄くすることが可能になりました。

また、製造工程も従来より最大で2日ほど短縮できるということで、岐阜県は1年後を目標に地場産業の美濃焼での商品化を目指しています。

研究を続けてきた伊藤正剛研究員は「より多くの人にこの製法で作った美濃焼にふれて見て欲しいです」と話していました。

02月24日 19時00分